

《 ロープ高所作業災害報告 》

2025/10/11
報告書：被災者

1.基本情報

発生日時	令和7年3月24日 11時00分頃
発生場所	東京都豊島区
作業内容	改修工事
災害区分	転落

2.被災者情報

氏名・所属会社	---
年齢・性別	39歳・男
経験年数・内容	3年・改修工事
負傷状況	骨折

3.災害状況

作業環境	地上4階、高さ約6m、天候：晴
使用資機材	ロープ、ディセンドー、フルハーネス、アンカー
1) 災害発生時の状況	1) 外壁改修工事のためロープ下降しようとしたところ、器具の設定不良のためそのまま転落したものの。
2) 発生後の救助搬送	2) 墜落時に他業者が目撃、建物職員に伝える。職員が救急車要請。消防が先に到着、救急車がその後到着し、病院に搬送。墜落から約15分後と思われる。

4.原因分析

直接原因	器具の設定不良
間接原因	作業手順の不徹底/安全管理体制の不備/心的要因

5.再発防止対策

技術的対策	安全器具の二重化
管理的対策	作業手順の見直し、定期的なKYT(危険予知トレーニング)の実施、ゆとりある工事日程の策定
その他	

協会の所見と対応)

情報の補足。下降器はリグを使用。リグのロープを逆通ししたことで墜落が起きている。墜落阻止器具はアサップロックを使用していたが、墜落時には装着していなかったとのことだが、一部記憶があいまいなため定かではない。

被災者は仕事のことで悩んでいたこともあり、作業中の集中力が欠けていたことも要因だが、日頃の作業手順の甘さが出たとも見える。

改めて、作業手順の徹底と、性格的に集中力が欠けやすいのなら逆づけ防止機能付きの下降器、ID's 等を使用するように推奨した。